



上島町

# 議会だより

No. 5

2006年10月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



7月7日(金) 於 松山市にぎたつ会館

写真は、挨拶する愛媛県町村議会議長会長（田窪議長）

## 主な内容

- 一般質問 ..... 2P
- 平成18年度視察研修（上島町議会行政研究会） ..... 6P
- 第5回臨時会 ..... 8P
- 議会の活動 ..... 8P

一般質問

6月23日に開催された第2回定例会においては、9名の議員が一般質問を行いました。

質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的には質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



生名橋の開通に合わせて岩城く生名の交通ルートはどの様に考えているか

**Q** 平成18年3月23日に生名橋の起工式が佐島地区で盛大に挙行されましたが、知事の祝辞の中で岩城橋に触れられた時、現在の状況であれば大変難しくめどが立ちにくい。又、社会情勢が変化すれば架橋も考えられると退いた内容であった。このままでは岩城は取り残され、合併した意味もなく、住民もだまされた様な気持ちになるのではないか。架橋が予定より遅れる様であれば、橋が完成するまで(生名)岩城間をフェリーでつないではどうか。

**A (柏原生名総合支所長)** 蛙石の下へ発着施設を整備することは農地海岸環境整備事業の制度では対象となりません。別の場所は単独事業では財政的にも難しい。

**A (植田生活事業課長)** 航路の新設は国交省が審査します。基準の中には係留施設、輸送施設等、関連施設が整備

されなければ国の認可は困難です。

**Q** 蛙石公園の下にこだわっている訳ではない(発着場)色々な航路設備問題があるのであれば、現在の既成の発着場(佐島・生名)使用する様考えざるべきだ。どの様な方法であれば住民が助かるのかを考えて検討するのが行政の在り方だと思ふ。

下水道使用料金の値下げを住民に知らすべきだ

**Q** 旧生名村の下水道使用料は左記のとおりです。

住民は銀行振り込みが多い為、殆どの人が

生名 使用料		想定世帯人数	17年度以降
水量(㎡)	16年度まで	1人	1,260円
	8		1,260円
	9		1,260円
	10		1,344円
	11		1,428円
	12		1,512円
	13		1,596円
	14		1,680円
	15		1,764円
	16		1,848円
水量(㎡)	16年度まで	2人	1,932円
	8		2,016円
	9		2,100円
	10		2,184円
	11		2,268円
	12		2,352円
	13		2,436円
	14		2,520円
	15		2,604円
	16		2,688円
水量(㎡)	16年度まで	3人	2,772円
	8		2,856円
	9		2,940円
	10		3,024円
	11		3,108円
	12		3,192円
	13		3,276円
	14		3,360円

※16年度まで 1世帯1,500円 1人300円  
17年度以降 基本1,260円(10㎡まで)以降84円/㎡

旧生名村と上島町の差額が判っていないと思ふ。行政が広報や機関誌を使って、知らすべきではないか。

A (垣村上下水道課長)

平均的家族(4人)の場合		
地区名	改正前	改正後
生名	2,835円	1,260円
岩城	4,500円	1,260円
魚島	2,260円	1,260円

全74世帯の内

33世帯	210円~211円増
31世帯	3,171円~157円減

最大3,171円安くなっている

弓削(1t当)	弓削の場合改正前は従量制を取っていたので減額の数値が大きくなっている。
10~20t	116円
20~30t	136円
30~50t	152円
50t超	168円

広報などで住民に知らせします。

原博彦議員



農業振興地域整備計画について

**Q** 上島町に於ける農政推進にとって根幹となる農業振興整備計画

の見直し完了時期は。

**A (町長)** 産業振興に於ける農業政策は上島町にとって重要施策であると認識している。

A (村上産業振興課長)

上島町での農業振興整備計画は早急に策定する必要があり今その準備に入っている。八月頃までに資料の収集を行い、平成19年6月頃には完成させたい。

宮脇政敏議員



社会福祉協議会について

**Q** 岩城では毎週決められた日に16名程度の人々が車で送迎を受け入浴や給食軽度のデイサービスを受けているが療養士がいないので

ハビリは出来ない。今紹介保険法の改訂により一年以内に6段階評価が7段階に見直される要介護1の人が4名いるが一名打切られると月10万程度の収入減となる。又週4、5回通所サービスを受けている人も打切られるか、給食代390円も全額カットとされているが食事介護を止めるわけに行かないので一食600円程度でやると聞いている。又別に家庭訪問介護の人が

39名いるがカットされるとヘルパーさんのリストラとはならないか。

### A (藤川健康推進課長)

岩城の社協では、介護保険のデイサービスと高齢者生涯活動支援事業を町からの受託事業で実施し、機能歩行訓練等は看護師等の職員で対応している。現在、理学療法士等は募集中です。法改正に伴う多少の減収は見込まれるが登録ヘルパーのリスト計画はありません。

### 岩城地区に於ける総合健康診断について

Q 全体で369人が受診しているが内容を見ると胃・肺ガン・子宮ガン等は受診しているが費用の自己負担分を考慮してか他は見送っている人が多い。旧村の時は70歳以上の高齢者の基本検診は無料であったが現在は12項目全体で一部負担となっている。受診適用者は700余名いるが約

半数しか受けていない。早期発見、早期治療をめざすならせめてガンシステムだけでも無料か若しくは負担の軽減を計ってほしい。

### A (藤川健康推進課長)

格差は正の一元化を図り、費用の一部を自己負担としている。70歳以上の高齢者は、現在も基本・ウイルス検診は無料です。受診者は増加しているが、今後、も啓発啓もうに努め、一部個人負担の継続はお願いいたします。

### 果樹試験場岩城分場の維持発展について

Q 分場は戦後の食糧難の当時軍用地の払下げを受け再三の村の懇願により特用作物の試験地として発足し、島の農業が柑橘中心となるS39年果樹試験場となる。小規模急傾斜の段畑の条件不利地域での栽培管理、適地適作、高齢化に対応した芽接品種更新、技術の

開発、再生産をめざす経営体のあり方を目標に管内は元より全国規模でも柑橘類の試験研究では多大の効果を収めた。今県では農林、水産、果樹全体の統廃合の動きがあるが上島町のみでなく今治周辺も農業経営上なくてはならない分場の内容充

### 寺下満憲議員



### 委託業務、委託料の見直しを急げ

Q 3月22日付の上島町行政改革推進委員答申を受けて、改革大綱基本方針が出されていますが、その中で民間委託等を行っている業務については、公益性に配慮しながら費用対効果の視点から今後の

実と維持発展へ陳情請願の努力を望む。  
A (上村町長) 岩城分場は上島町にとって切り離せない大切な案件なので8月開催の知事陳情において重要課題として維持発展に向けて県担当部局に直接要望を行う。

### 町内でのごみの分別方法の統一化を急げ

後にも精査は必要であると思っておりますので、行政改革大綱に沿いまして、他市町の事例も参考にしながら、情報収集、分析等を行っていきたくと考えております。

### Q 7月1日からゴミの有料化が町内で統一化されます。ところが分別方法は、旧町村時代のままで、魚島地区は10分別、弓削地区は9分別となっております。生名地区は20分別。岩城地区は15の分別方法となっております。同じ町内でありながら分別の方法が大きく違ってきます。早く分別の方法を町内統一して、再資源の可能なものは、再資源化を徹底的にしていく方向を打ち出してはどうでしょうか。

A (上村町長) 町内ごみ分別方法の一本化に

### 平山和昭議員



### 県道弓削島循環線の早期完成について

Q 県道弓削島循環線改築工事は生名・岩城への幹線道路として交通量が増えると予想さ



## 上島町の危機管理の現状について

れ一日も早い完成が待たれるが民家の移転、道路用地の収用に係る諸問題は解決、若しくは解決のめどはたつていないのか。また土生地区では新しい護岸から海岸へ降りる階段の使い勝手が悪いと地域住民から指摘されている。危険を伴う捨石もあるので安全に浜へおりていけるようにする必要がある。

### A (濱中産業建設課長)

土生地区での用地は残り二件が未契約だが夏頃には契約の見通しです。商船高専艇庫移設に関しては今月中に学校、県、町の三者で弓削漁協へ相談にいき、その後太田地区で説明会を開き地元の見解を聞く予定です。漁協から太田までの間の用地関係は、家屋三件の物件調査を終え、金額提示一件、補償額の積算中二件となっている。浜へ降りる階段の件は県と再度協議したい。

### Q 近年南海大地震が

発生する可能性大ということですが町も防災危機管理体制をより強固にすべく努力されておられるのだがその割には未だきめ細かい対応が成されていない。町としても独自に防災無線の活用などで当地での地震の規模、津波の有無、町内各地の状況あるいは情報提供依頼を放送し、いざというときに備えたトレーニングを兼ねた行動をとって然るべきではないか。

### A (宮川消防長)

これからは更なる大規模災害による被害を軽減するため防災業務の消防本部への移管に伴う本部組織や災害発生時の配備体制の見直し、住民も参加する防災訓練の実施をしていく。現在のそれぞれの地区を単位とする地域自主防

災組織の育成を重点項目として取り組むのであるべく早い時期に組織を結成して頂き、被害の軽減を図りたい。防災マップは改良を重ねながら災害に備えたい。

## 森本裕人議員



## 生名西側海岸への外郭施設等の整備計画について

### Q 生名橋完成後生名

から岩城橋の計画がありますが、上島町の合併メリットとして生名西側海岸へ外郭施設(防波堤)を計画し、併せて係留施設(棧橋)を新設しておけば、生名橋完成後の課題として、公営渡船の運航計画や、また民間汽船

会社との協議次第では、岩城(長江)から生名へ直接短時間で行くことができる。更には弓削まで船と橋で結ばれるので、上島町民同士の交流を通じ親近感も生まれ、それぞれの旧町村の施設を自由に利用できる。上島町民の為に将来計画としてご検討願いたい。

### A (村上企画情報課長)

まちづくり交付金で、20年度に小型船が着岸できる簡易な棧橋を計画しているのご理解願いたい。

### Q 岩城と生名を直接

結べるような接岸施設を岩城に近いところにぜひご検討願いたい。

## 霊柩車の管理委託について

### Q 魚島地区を除く旧

3町村について、霊柩車の管理運転業務を委託して統一し同じ条件となる地区には火葬使用料を同額にし、統一条件にならない地区に

は火葬使用料で調整し、18年度より上島町として業務委託で対応するとの説明があったにもかかわらず、岩城では霊柩車の運転は今までどおり家族等で対応している。事務事業一元化の中で弓削だけが霊柩車等の管理業務を業者に委託しており、2島に比べて公平性を欠くのではないかと弓削地区の経費の算出根拠と委託金額についてお

## 前田省二議員



## 上島町の施設(集会所を含む)の工事・備品購入について

### Q 上島町の公の施設

における工事請負・備品購入にあたり、指定管理者と協議して適正

尋ねします。

### A (植田生活事業課長)

霊柩車の管理委託料については、年間の霊柩車の維持管理、それと一件当り単価に年間見込件数で算出している。本年度については、132万円となっており、異議の申し出がない場合は、1年間の期限延長で更新している。18年度中に統一に向けて協議をしたいと考えております。

に処理されているのか?佐島栗手集会所の屋根の修理は、昨年10月から話は進んでいるのか又豊島コミュニティセンターのボイラー交換については、お湯は循環式なのか、機種についても協議がなされずに決まったと聞いているが?

### A (植田生活事業課長)

集会所の修理につきましては、各地域により地区の負担はそれぞれ相違があり、事務事業

一元化する上においても、協議してきたが、今月中にも結論を出したい。

## 健康増進センター について

Q 健康増進センターの老朽化が進み洗面のお湯やシャワーから出ない事があり、かなり支障が出ていると聞きますが、改善の予定はありますか。又、ティッシュや麦茶が切れていてもそのままであったりサービスマンにおいても改善の必要があるのではないのでしょうか？

### A (村上産業振興課長)

健康増進センターの老朽化が著しく次から次に漏水等で困っているが、本年度赤錆対策工事をすれば、多くの故障の緩和が図られます。又、現施設でのサービスマン向上は厳しいとは思いますが、指定管理者におきまして、できる範囲でよく努力していただいていると思います。

ます。ボイラー取替工事については、協議は十分おこなわれたと認識している。

## 土居計彦議員



## 県内三位の高齢化率 にどのように対応して いくのか尋ねる

Q 私達の上島町は65歳以上の高齢者が久万高原町、伊方町に続き3番目に多いと県のデータが発表されています。高齢化の進む早さをスロウダウンさせなければなりません。若者が町内に定住して就労できる環境づくりが必要で、地元企業にお願いして、地元枠で町内の若者を多く採用していただいたり、通勤可能範囲の企業の求

人情報を高校や保護者に提供することも効果がある。高齢化を逆手にとって、高齢者が能力や経験を生かし、活躍できる町づくりも必要。

### A (村上住民課長・村上企画情報課長)

少子化対策として子育て支援協議会を設立した。促進し、定住人口を増やし、高齢化率を抑える効果がある。町総合計画と定住促進対策計画のなかで、U・Iターン者が定住できる環境をつくる。景気に左右されにくい、第一次産業の雇用の場を創出したい。

## 「ごみの収集」新 方式の周知徹底を はかれば

Q 7月1日から始まるゴミ収集の有料化・新方式に対し、初期トラブルを最小限にしなければならぬ。従来方式でさえ、マナーや

ごみ出し方法に不十分などところがあった。スムーズに新方式に入るために、どうしたら良いか考えているのか。

### A (植田生活事業課長)

回覧・文書配布・ホームページ等で周知をはかっているが、まだに問い合わせもある。中国語の資料も配布する計画です。完全に周知されるにはもう少し時間がかかると思う。今後とも周知の徹底を図っていくので、御理解をお願いする。

## 松原弥一議員



## 海底送水管による 簡易水道水源の確保 について

Q 水問題について再度質問する。魚島簡易

水道高井神簡易水道は昭和30年に設置して現在に至っている。伏流水や小規模堰堤水、深井戸取水を水源にしていたが水不足の抜本策とならず時間給水が長期間続いたり塩分が混入するなどの問題が残った。その後購入水、海水淡水化の水源に切替えたがホウ素などの新規の問題が発生した。架橋からはずれた魚島地区の今後の貴重な事業としても、海底送水管敷設の実現を是非すすめてほしい。

### A (上村町長)

海底送水管の方針については前回お答えしたとおり現在も変らないが、安全でおいしい水を安定して供給する義務については最重要課題として認識している。

### Q

海底送水管工事はきびしい財源等大きな問題があるが、魚島地区の状況を良くご理解いただき今後も前向きに検討してもらいたい。

## 大規模災害の心配あり、 地区毎に防災会 議を開催されたい

### Q

6月12日朝5時中四国九州各地で震度5の地震が発生したが、近い将来には南海巨大地震がおきるといわれている。最近では地震、津波、台風、火災、水害と色々な災害が各地に発生している。そこで行政の防災対策、消防団等の防災活動、災害を最小限に食い止めるための住民の意識啓発等を徹底して研鑽すべきである。又地区住民全員を対象とした防災会議、対策等説明会を開催すべきと思うが計画をお知らせ下さい。

A (宮川消防長) 今後町では南海地震等の被害を軽減するため配備体制の見直し、防災訓練の実施、自主防災組織の育成に重点を置き、区長や地区長等リーダーの方への説明会を行い、避難訓練などを実施することを考えている。





同行の町議会議員及び上島架橋推進協議会正副会長



村上誠一郎衆議院議員に陳情書を説明する上村町長と新川副議長

## 平成18年度視察研修(上島町議会行政研究会)を実施いたしました。

場所：岐阜県郡上市議会他

期間：平成18年8月8日～10日

### 研修目的

全国の市町村は、市町村合併も概ね終息し、新しい地方公共団体としての位置付けが確立されつつある。合併市町村は国、県の財政事情により、極めて厳しい行財政運営を強いられる状況下にあることから、汗も知恵も出し切りそれぞれの地域を維持、発展させなければならぬ責務がある。今、国の三位一体改革が進行する中において、地方分権が謳われ、地方の時代としての地域間格差が生まれる土壌が整いつつあることから、生き残りを賭けた各自治体間の競争激化が予想される中で、活力に富む地域力を発揮した新しい上島町を創造していかなくてはならない。

上島町議会は、自主自立を目指した地方行政の大切な意思決定を担っているところから、競争力のある地域づくりが重要であることを認識し、先進地の視察はもとより、関係方面への各種の働きかけや情報収集・情報提供など機会を捉え積極的に実施し、地方議会人としての資質・能力の向上を図り住民福祉の向上を目指す。

1 地元選出国會議員に陳情書の提出(村上衆議院議員、関谷参議院議員、山本参議院議員)  
2 地元選出国會議員と行政事情の情報交換  
3 先進地視察(2か所)から地域活性化手法を研究  
(郡上市議会)：H16・3月、7か町村の合併で市制公布、合併特例で議員定数26名を定数特例30名として平成20年4月11日までの任期としていた。地域間の格差は正、伝統文化の交流等に細やかな配慮と地域の統一性を図る

上での特別な措置がとられている。合併特例の配慮と議会広報の発行について学ぶ。  
(株)明宝レディーズ：旧明宝村の総合計画で産業基盤支援から直接的な産業おこしへと大転換、3セクからスタートし、大成功を収め、第1次産業の掘りおこしと高齢者の生きがい対策としても全国的に有名となっている。上島町も産業の創出と高齢者の生きがい対策は喫緊の課題であることから、先進事例を学ぶ。

### 重要施策の推進に関する陳情書

#### 上島架橋等の推進について

平素は、上島架橋の整備促進に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、上島架橋におきましては、弓削大橋の開通に続き、生名橋の着工と進めていただき、新生上島町の生命線が着実に実現をしていることに、全町民が深く感謝しているところであります。しかし、この架橋は町内の離島を結ぶことにより行政の効率化や地域の一体性を促進することを目的に推進しており、弓削大橋、生名橋、岩城橋の3橋がすべてできなければ目的を達成することはできません。そのため、上島架橋の早期実現を期し、その推進母体として「上島架橋促進協議会」を設立し、生名橋の早期完成、岩城橋の早期着手、さらには西瀬戸自動車道との連結へ向け、町民の夢の実現を図るべく一丸となって行動を起こしております。国におかれましても、かかる状況をご賢察いただきまして、現在、道路特定財源の予算により整備されている上島架橋につきましては、

大変厳しい財政状況下ではありますが、今後も財源を確保して頂き、岩城橋の1日も早い着手並びに本土への架橋の早期実現に向け格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

本年におきましては、瀬越地区臨海土地造成の公有水面埋立を計画しており、昨年度に引き続き「上島町造船振興計画」の推進に對しまして、様々な面からご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 造船振興の支援について

上島町は、地域の産業振興を図るためさまざまな施策を展開しているところであり、中でも町を支える重要な基幹産業が造船業であります。

本町におきましては、平成17年7月、安定した定住人口を確保し、地域経済の発展と雇用の増大を目的とする「上島町造船振興計画」を策定いたしました。

この「上島町造船振興計画」に基づき、昨年度におきましては、県の多大なるご協力により、船越地区臨海土地造成に係る公有水面埋立免許の認可を頂き、深く感謝申し上げます。

昭和27年に離島振興法が制定されて以来、海上交通の安定的確保・充実は、国・県におかれても特別に重要な案件として扱われ、島の生活は相当に改善されてきました。

時代が移り、社会情勢が変わっても離島という地理的要因に変わりなく、船によって島の生活ほとんどが成り立ち、船は島民の手足であることは言うまでもありません。

さらに、平成18年度において、県の離島航路整備事業費補助金は、島の財政事情からこれまでの補助率を大きく割り込んだものとなっております。

そのような中、上島町における郵便局は、地域住民の熱意により明治時代に発足して以来現在に至るまで、地域住民にとって安価で安全な通信機関であり、欠かさずことのできない生活基盤であります。

本航路は、上島町の島を結ぶ離島航路で離島住民にとって不可欠な交通手段であり、産業振興や地域開発の基盤である離島航路の安定的な維持運営のため、補助制度改正前の標準単価によらない現状に沿った実績欠損額による補助を強く要望します。

の整備の遅れは顕著であり、住民の生活は陸地部では考えられない数多くの困難があります。

郵便業務に関するサービスの維持について

つきましては、離島の郵便業務に関して、サービス等の低下を招かないよう特段の御配慮をお願い致します。

上島町は愛媛県で唯一の全部離島であり、非架橋地域ゆえに交通網

の郵便業務に關して、サービス等の低下を招かないよう特段の御配慮をお願い致します。



衆議院議員  
村上誠一郎先生



参議院議員  
関谷勝嗣先生と田窪議長



参議院議員  
山本順三先生

## 「国会議員の先生方との情報交換・視察風景」



東京「日テレプラザ」岡本太郎  
画伯の壁画「明日の神話」見学



トマトケチャップ作り



視察風景  
(株)明宝レディース



視察風景「郡上市議会」





## 第5回 臨時会

7月12日(水)に招集され、「工事請負契約の締結について」を可決いたしました。

- **工事名** 上島町消防庁舎建設工事
- **契約金額** 339,255千円
- **工期** H18.7.13～H19.3.10
- **業者** 今治市 (株)河上工務店



完成予想図



現在の消防庁舎

## 議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

## 議会の活動 (前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
6	4	第31回花と音楽の会 (出席者9名)	7	26	消防庁舎着工式 (出席者12名)
6	9	愛媛県町村議会議長会 (上島町)	8	4	四国地区議長会研修 (高知正副議長)
6	17	生名岩城漁協総会 (岩城)	8	8~10	上島町議会行政研究会
6	23	第2回定例会 (出席者全員18名)			視察研修 (東京、郡上市、出席者15名)
7	2	上島町商工会合併記念行事 (出席者14名)	8	15	戦没者追悼式 (松山)
7	7	第1回町議会議員研修会 (出席者12名)	8	23	全国町村議会シンポジウム (東京)
7	13~14	四国地区議長会県会長会 (高知)	8	24~25	全国議長会理事会 (札幌)
7	20~21	市町村議会議員特別セミナー (千葉) 正副議長	8	29	第6回臨時会招集